

2018 事業報告書 ANNUAL REPORT



≡ INDEX 目次

01. 特定非営利活動法人山王学舎

山王学舎概要
設立にあたって
見えて来た課題

02. 山王学舎のビジョン

- 子どもたちの居場所の新しい形
 - 子どもの居場所 放課後児童クラブ山王学舎
 - 子どもの食 山王学舎子ども食堂
 - 子どもの学び 様々なプログラム
- 特定非営利活動法人山王学舎の1年

特定非営利活動法人山王学舎

特定非営利活動法人山王学舎

事務所	〒812-0015 福岡県福岡市博多区山王1丁目5-17
事業所	〒812-0016 福岡県福岡市博多駅南6丁目5-2
TEL	092-515-8752
Mail	info@sanno-gakusha.or.jp
Webサイト	sanno-gakusha.or.jp



理事



代表理事

成田 鍾哲
九州産業大学九州造形短期大学講師
山王ひなた美術教室講師



理事

辻政之
デザインスタジオカラーズ
福岡女学院講師



理事

宮本昌美
栄養士
山王ひなた美術教室講師



理事

鶴田二郎
鶴田二郎アトリエ一級建築事務所
麻生建築＆デザイン専門学校



理事

堀田宏治
福岡美術学院



理事

石崎憲子
いしざきのりこ社会保険労務士事務所

会員

成田鍾哲 辻政之 宮本昌美 鶴田二郎 堀田宏治
石崎憲子 岡本明久 寺崎奈々子 中村壮志 成田章子
山王ひなた美術教室 (有)新盛商会

スタッフ

非常勤及びアルバイト 10名(登録)
ボランティア 2名
※2019年3月末現在



学舎主任講師

崎山修平

2014年2月 前身団体「山王ひなた美術教室」開業

2016年1月 福岡市博多区山王1丁目5-17に移転

2017年12月 「特定非営利活動法人山王学舎」
法人設立に向けて準備会設置

2018年2月 「特定非営利活動法人山王学舎」
設立総会開催・所轄庁(福岡市)設立時書類提出

2018年4月 「特定非営利活動法人山王学舎」
法人認証(福岡市)及び法人登記(福岡法務局)

2018年9月 福岡市博多区博多駅南6丁目5-2山王学舎
事業所として運営開始

2019年3月～ 現在に至る

補助・助成 (2018年度)

福岡市NPO活動推進補助金

福岡市子どもの食と 居場所づくり支援事業補助金

国立青少年教育振興機構 子どもゆめ基金

はじまりは山王ひなた美術教室

私達は、2014年2月に任意団体「山王ひなた美術教室」立ち上げました。福岡市博多区を中心に地域の子どもや社会人の方が美術造形教室に通って頂いています。子ども達が学び事ばかりでなく、**自分の体験や活動**を、自由に色や形を生み出して表現する教室です。春住校区地域の子どもや校区外の子どもも一緒に、**非言語領域の「美術」**を楽しみ、豊かに学びながら授業を展開しています。2018年度において、約**90名の子ども達**が美術教室に通っています。



資料出所:厚生労働省「厚生労働白書」、内閣府「男女共同参画白書」、
総務省「労働力調査特別調査」、総務省「労働力調査(詳細集計)」

全国的な問題としての日本の現状

全国的な問題として、子育てを行う家庭の環境は、ここ40年で大きく様変わりし、子どもに繋がる社会の大きな変化が見て取れます。

美術教室運営を行い、子ども達の活動が広がるにつれて、見えてきた地域や子育ての問題がありました。

例え…

見えて来た課題

自由に学べない

授業後も、「子どもをお迎え時間まで延長して預かって欲しい」声も多く、**ひとり親家庭・共働き家庭・多子世帯**が多く在籍し、教室外で放課後の体験や学びを受益することが出来ない子ども達が存在する。



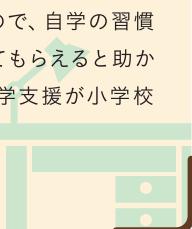
外国籍の家庭

博多区は、**中国や韓国籍、様々な外国籍の家庭**も地域に多く居住していることが教室に通っている子ども達からもうかがえます。**美術造形は言葉を必要としない表現**なので、そのような子ども達の受け皿になりやすい。



自学の習慣化

家では子どももなかなか勉強しないので、自学の習慣化を**地区の知っている先生達**で行ってもらえると助かる。また来年は中学校に通うので、自学支援が小学校在籍までなのか心配。



認知や信頼

美術教室でありながら、様々な**体験や活動**を行ってもらい、地域の保護者にも認知や信頼が高まっており、放課後の学習事業も行って欲しい声が沢山あがってきました。



課題解決に向けて

これらの声を受け、「家庭で期待されている場は、経済的な格差で通える子が限定される習い事や塾ではなく、全ての子どもに開かれた、留守家庭子供会(放課後児童クラブ)を中心とした放課後の居場所なのでは?」と考えました。私達は特定非営利活動法人山王学舎設立し、子ども達や家庭が抱える課題解決に取り組み始めました。

特定非営利活動法人山王学舎は、 小さな取り組みから 地域を支えたい

経済的資力の差によって生まれつつある学びの差をなくし、留守家庭子供会の全学年受入による漏れた子ども達の受け皿になりたい。特定非営利活動法人だからこそできる、柔軟な多分野の重なりと、小規模の学び舎の強みを生かした個別の放課後の居場所支援や学習支援を行っていきたい。私達は、特定非営利活動法人山王学舎のたちあげを決めました。



対象

小学生・中学生

特定非営利活動法人山王学舎は、福岡市子ども未来局放課後子ども育成課に「放課後児童健全育成事業開始届」を提出し、「放課後児童クラブ山王学舎」として、正式に福岡市の民間学童事業者として届けています。

「放課後児童クラブ山王学舎」は、共働き世帯やひとり親世帯、就学援助世帯などの条件はありません。。放課後児童支援員と補助スタッフが、異年齢の子どもたちと一緒に放課後の居場所を作り上げています。

山王学舎は、先生と子どもの距離も近く、そして古い建物の良い所を残したレトロな施設です。みんなの秘密基地みたいな場所で「居場所」「学び」「体験」を複合的に行います。



ここだと色々な遊びが出来て、
先生達も一緒に話し相手になってくれるので楽しい。



朝は8:00～夜は21:00まで最大預けることが出来るので、学校の児童クラブの運営時間より、今の仕事の実情に合っていて、とても助かっています。



授業期

月～金14:00～21:00まで
土曜日8:30～21:00まで
日曜日およびイベント開催日はお休み
早朝及び夜間延長の制度あり

休暇期

月～土8:30～21:00まで

対象

小学生1年生から小学6年生

期間

9月1日より毎週平日から土曜日開催。約175日開催
※2018年データ

参加

上記期間延べ800名

事業総額

事業総額：1,239,000円



01

子どもたちの居場所の新しい形

子どもたちと関わっていくなかで、社会モデルの変化から生まれた課題が個人の成長や機会に影響を及ぼしているのではないか。「共働き・ひとり親世帯など家族モデルの変化」「教育投資における格差の広がり」「障がいによって生きにくさを抱える人々への理解と支援」「多文化・多国籍家族の増加と理解」などが浮き彫りになり、子どもたちの直面している状況はこれから社会が立ち向い解決しなくてはならない課題だということが見えてきました。

私たちすべての人が、マジョリティの中にいて考えるだけではなく、社会課題を抱えたマイノリティの人々に寄り添う事。また、マイノリティの立場になり得る事を認識する事。そうすることで「自分ごと化」し、当事者の課題として取り組まなくてはならない事に気付かされます。社会の変化によって生まれた課題に呑み込まれる子どもたちを、個人や家族の自己責任で終わらせるのではなく、第3の居場所や地域で支えたい。「地縁」の復活は、子ども支援の新たなサポーターとなり、格差もなく、一人一人が自分らしさをもって成長できる場を生み出せると考えています。

対象

子どもや保護者を含む地域の方々



子ども食堂の取り組みは、**家庭の貧困問題の解決**と捉えられることが多いのですが、そればかりではなく、子どもたちの気軽に集まる学校や家庭以外の第3の居場所として機能を持つはずです。山王学舎も子ども食堂が持つ、地域の方々との交流の力を考え、**充実した調理施設**を揃えて、決められた曜日で開催しました。

福岡市の支援、フードバンク福岡からの食材提供、個人の寄付などから運営を計画し、子どもたちは無料、保護者や地域の方には低廉な料金で食事を提供しました。また食事以外にも山王学舎のスペースを開放し、**地域の方の交流や子どもたちの遊び**も行います。



ご飯を食べた後、皆と一緒にゲームをしたりするのがとっても楽しい!
2階は子ども達の場所みたいな感じでお話が出来る場所!



共働き世帯なので、お友達と夕方一緒に家で遊ばせることが少ないので、友達と食事をしたり、お友達と遊ぶ場がここにあって本当に助かります。

取り組みの広がり

山王学舎の取り組みにおいて、一番地域の方や子ども達、保護者の方々が問い合わせ頂く取り組みとなりました。それだけ**「子ども食堂」**が食の充足だけでなく、居場所や保護者のコミュニケーションにも役立っていることだと感じています。

次年度以降も子ども食堂の取り組みは継続し、地域の居場所としての認知向上と、食材やメニューも**「食事の支援」**にとどまらない、**食べて楽しい・美味しい**を目標に考え、取り組みたいと思います。



子どもの食「山王学舎子ども食堂」

居福2
場岡0
所市1
つ子8
くど年
りも度
支援食
事業

山王学舎子ども食堂

指定日曜日17:00～20:00

対象

小学生1年生から中学3年生までの児童・学生及び保護者

費用

子どもは無料 大人300円

参加

2018年度は10月から
3月までの合計6回延べ180名

事業総額・助成金額

事業総額:740,000円 助成金額:150,000円

- ・食品衛生責任者が管理する施設です。調理や施設管理について衛生面から注意しています。
- ・特定非営利活動法人フードバンクと提携し、地域の子どもたちに無料で料理を食べてもらいます。
(保護者を含む大人は費用負担有)
- ・山王学舎に参加していない子ども食堂は参加OKです
- ・食べるだけでなく、遊びの時間もあり、楽しく過ごす場所として開放しています。
- ・配膳準備やお片づけは積極的に手伝えます。
(子どもの意識付け)

※2018年度は10月より月1回開催しました。(計6回開催)

02



対象

小学生・中学生

山王学舎では、放課後児童クラブだけでなく、子どもたちの体験する力を高め、学ぶ機会を増やす取り組みを行っています。「子どもの学び」においては、子ども達への学校外で行う学びの習慣化や体験を増やす取り組みを行っています。本来このことは、家庭で良く行われていたことかもしれません。

今では共働きが当たり前のようになり、社会構造も変化しています。ではその取り組みを私たち地域が担っていきながら、**子どもたちのエンパワメントを引き出します**。参加者自身も地域の一人として見守られていることを実感しています。

具体的に2018年度では、「**自学の習慣化**」「**読書活動**」と「**料理教室**」を行い、沢山の参加者が山王学舎に集いました。



ここだと学校の宿題が出来るし、先生達が分からなかったら教えてくれるので楽しい。
一緒に考えてくれるし、たまに先生が間違ったりして、面白い。
それからパッドを使って学習ができるので、家に無い勉強ができる！



自宅で中々学校の宿題を行わない子どもが、皆が集う山王学舎なら宿題をするようになりました。

活動の広がりとして

活動を始めた一年で、小学校・中学校の先生、ssw(スクールソーシャルワーカー)、福岡市こども未来局の方々等、子どもをサポートする立場の人々が見学・お話しを伺いに来ました。そんな中、地域の中学校が、学校に通えない子どもが、ここでなら通えることが分かり、学校でも教育委員会と協議し、山王学舎に通う事を出席扱いとしています。このように個人への体験や支援を続ける事で、少しづつ周囲の公的なサポートにつながると感じています。また家庭で普段行っていた料理や読書も、共働き世帯が増えたいま、改めて支える仕組みが必要なのではと考えています。

学び舎子ども読書の会 国立青少年教育振興機構子どもゆめ基金助成

子どもたちの読書体験や読書量は以前に比べて減ってきてています。子どもたちの読書に対する主体性を引き出し、自ら考えたり学ぶ機会を読書から気付いてもらいます。月毎に決めたテーマから、図書館や本屋さんで探した読みたい本を、ゆっくりと一人の世界に没頭して読み込んでもらいます。

「みんなで一人になって読むこと」は、共通の目的がありながら自分のやるべきことをすることに似ていますよね。きっと自宅だとなかなか読まない本も、このような取り組みから、手を伸ばすきっかけとなるでしょう。知識の取得もネット環境だけでなく、読書という自覺的で主体的な行為からこそ本物になることでしょう。※2018年度は9月より月2回開催しました。(計14回開催)

学び舎子ども読書の会

月2回 指定日曜日10:00～14:00まで

対象

小学生1年生から中学3年生までの児童・学生

期間

2018年度は9月から3月までの合計14回

参加

上記期間延べ160名

事業総額・助成金額

事業総額: 356,000円 助成金額: 320,000円



地域の子ども達の学習格差をなくす「美術と学び」支援事業 福岡市NPO活動推進補助金

子どもたちが居場所についてたくさんの遊びを行っても、親にとっては遊びに不安を持つものです。また家庭の経済的資力によって子どもたちの遊びの格差や機会の逸失が生まれることは、次世代に負の世代間継承を行ってしまうことになります。山王学舎では、福岡市の支援※を受けて「**子どもたちの自学と学びの習慣化**」を2017年より地域で行っています。学びの機会に恵まれない子どもも、またどんな子どもでも、今の自分の学びに向き合いたい子どもは、この取り組みに参加出来ます。また、小学生低学年や、外国籍の子ども、そして障がいを抱えた子どもたちが学びのストレスを抱えないように、私たち山王学舎の前身団体「**山王ひなた美術教室**」から持っている美術表現のスキルを学びに取り入れます。**非言語領域の美術や造形の力は、時には何物にも代えがたい学びとなります。**

山王学舎施設が新設されたことにより、毎週毎日学校が終わった後、山王学舎で宿題や自分の伸ばしたい箇所をサポートして下さる先生から教わりながら学ぶことが出来ます。もちろん自学の習慣化ですから、少しずつ自分の力で行えるように先生達も見守りを行います。

※2017年度福岡市地域学び場応援事業、2018年度は、福岡市NPO活動推進補助金の採択を受け、子どもたちの学習支援を行っています。

- ・学びの時間には、学習サポートの先生が二人に補助の先生一人が支援に入ります
- ・先生は現役大学生や予備校の講師が行います
- ・宿題だけではなく、ドリルや参考書など、予習復習教材も各学年揃えています
- ・高学年は、E-ラーニングを取り入れ、タブレット端末による学習が可能です(同時最大6名まで)
- ・定期的に保護者や専門職の先生をお呼びして、保護者向けサロンや講演会を行います



自学の習慣化

月～土 16:30～18:00まで

美術造形授業

金・土 16:30～18:00まで

休暇期

日曜日およびイベント開催日はお休み

対象

小学生1年生から中学3年生までの児童・学生

期間

4月6日より毎週平日から土曜日開催。約300日開催※2018年度

参加

上記期間延べ1500名

事業総額・助成金額

事業総額: 1,239,000円 助成金額: 815,000円

学び舎子ども料理教室 国立青少年教育振興機構子どもゆめ基金助成

山王学舎の充実した厨房施設を使って、子どもたちが地域の人と一緒に月毎に決めたテーマに従って、チームで料理を作る会です。食品衛生責任者や栄養士の元、食材の管理や、様々な調理器具を楽しく学びながら料理を作り、最後はみんなで食べましょう。食育と協働を学ぶ体験事業です。※2018年度は9月より月1回開催しました(計7回開催)

学び舎子ども料理教室

月1回指定日曜日 13:00～17:00まで

対象

金・土 16:30～18:00まで

対象

小学生1年生から中学3年生までの児童・学生

期間

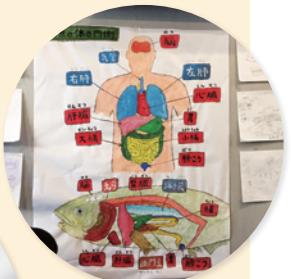
2018年度は9月から3月までの合計7回

参加

上記期間延べ119名

事業総額・助成金額

事業総額: 394,000円 助成金額: 337,000円



03



特定非営利活動法人山王学舎の1年

私たちはサポートが必要な子どもや家庭と共に同じ地域で暮らし、子育てを行っています。その中で見えてきた子どもを取り巻く環境は、学校と家庭、そして習い事ばかりの現状がありました。しかし共働き世帯や世帯収入が低い家庭では、「放課後の習い事が出来ない留守家庭」の環境も生まれています。そのような環境にいる子ども達に、放課後の居場所拠点を作ろうと私たちは決意しました。

設立するにあたって、私たち理事やスタッフが持っている美術や造形表現のスキルを、子ども達がハード面でもソフト面でも十分に恩恵を受けることが出来るように考え、運営施設や運営体制を整えました。建築家や美術家が集まり、ユニークな施設の設計を行い、授業では学びの一つとして、美術の時間を多く割き、勉強や言語領域ばかりではなく非言語領域の学びとして美術表現を多用しています。大人自らが、美術を通じて仕事を行っている現場として、子どもが一緒に楽しみ、学ぶ空間を作り上げています。

運営面では、団体自己資金だけでなく、初年度から自治体からの補助金や助成団体からの助成金を獲得し、広く市民の支援につながる取り組みを行うことができました。団体の信用の高まりから、個人からの物品寄付や寄付金の申し出も始まりました。また、フードバンク福岡と食材提供の協定書を取り交わし、山王学舎子ども食堂事業の食材資材の補助とすることが出来ました。

事業面では、大きく4つの子どもを対象とした事業を行い、そのいずれも初年度の参加見込みを上回る受益者の参加がありました。特に放課後の学習支援は地域の課題や取り組みとして大きなニーズがあり、受益者の口コミから新たな参加者が生まれるなど、相乗効果も見られました。低廉な受益者負担が参加者の学びに大きく寄与し、そのことが団体信用にもつながり、地域の学校関係者にも来訪・見学・支援相談など教育の一助としての拠点化が始まっています。

初年度の運営は、初めてのことも多く、痛みも伴う事も多くありました。特に子どもへのサポートの事業と言って施設を簡素化したり、ここに通う子ども達がサポートだから何かを我慢したりすることをさせたくありませんでした。「支援」や「福祉」の言葉に括られない、子ども達が山王学舎に来ることが、私たちの地域の中で一番の楽しみで、喜びであること。このように考え1年間運営してきました。

団体運営決算として2018年度は、大きく赤字を形状しています。事業施設内装などの初期投資があり、広報活動にも力を入れ、私たちの取り組みを地域で知ってもらうことに注力しました。初年度収益1,999,828円、経常費用3,883,693円となっています。備品や消耗品などのスタートアップに欠かせない設備投資が多く、今後は備品使用により次年度の費用は大きく減らします。また次年度以降自主事業である放課後児童クラブへ子ども達の参加を高め、決算の差益を減らしてまいります。各イベントも多く実施してまいりましたが、地域の声に耳を傾けながら、必要とされているサポートをより見極めて行かなくてはいけないでしょう。

しかし運営の痛みは、団体の成長痛と捉え、翌年度以降の成長する為の必要な基盤強化だと認識し、翌年度への取り組みに繋げてまいります。

特定非営利活動法人山王学舎
代表理事 成田鐘哲



〒812-0016 福岡市博多区博多駅南6丁目5-2 sanno-gakusha.or.jp/

📞 092-515-8752 📩 info@sanno-gakusha.or.jp